

吉川市立中央中学校

職場体験



第2学年

特色

- 平成30年11月20～22日の3日間、企業・店舗・公共施設などの市内72の事業所において、社会の一員としての心構えや働くことの楽しさや厳しさを体験した。本事業はキャリア教育の一環として行われ、望ましい勤労観を養うことができた。

生徒の感想

- 笑顔とコミュニケーションが、どれほど大切かが分かることができた。将来に生かすだけでなく、今後の生活でも大切にしたい。
- 時間を守ることの重要さが分かった。また、笑顔が人を幸せにすることや協力することの大切さが分かった。
- 「おはよう、こんにちは」などのあいさつの大切さがわかった。

成果

- 生徒は礼儀やマナー、あいさつ等が大切であることを、働くことを通して学ぶことができた。
- 今回の活動が、自分の得意、不得意に気づき、自分自身を見つめ直す良い機会となった。
- 3日間の体験を通して、働くことの意義や大切さ、大変さなどを学び、今後の進路・生き方について真剣に考える機会となった。